

令和4年8月12日

8月の木材価格・需給動向

1. 国産材(北関東)

栃木県の原木生産、入荷は天候次第であるが、今のところ各地区とも順調である。間伐材が増加している。未引取材による土場の圧迫は解消されつつある。スギ材は全体的に横ばい推移だが、中目材が弱気配。ヒノキ材は柱材、土台材、中目材とも大きく値を下げたが、4m母屋材が保合で推移している。

群馬でも入荷は順調。虫害が出始め、原木価格は下落傾向。引き合いは全般的に減少したが、プレカット工場への納材は依然として順調。受注はスギ・ヒノキ正角とスギ平角が多いが、貫、羽柄材は低調である。製品在庫は均衡。製品価格は羽柄材が下落傾向だが、スギ柱、平角、母屋角は横ばい。

2. 米材

産地では米国内の原木価格は高原状態で横ばい推移。カナダBC州では立木価格の高騰と州政府による伐採制限で原木供給が限定的である一方、米国向け製材品生産が好調なため原木需給が逼迫している。米国、カナダとも低気温の時期が長く、山火事警戒による伐採制限は行われていない。米国の伐採は順調ながら港頭在庫の積み上げまでには至っていないが、輸出用原木が不足する環境にはない。カナダBC州の港頭在庫は低水準のまま推移。米マツIS級並の8月積み対日輸出価格(推定)は前月より\$50下げの\$1,250/千SCRで決着した模様。ここに来て米国製材品のシカゴ先物が下げ足を速めており、現物価格との差が大きく開いている。米国製材品市況は先行き下落基調になり、生産調整をする可能性もある。ランダムレングス紙発表の15種平均価格(8/4)は\$649/M。

6月原木入荷は255千 m^3 で今年最高、1~6月累計は1,262千 m^3 と前年同期並み、カナダからの入荷は前年比2.3%減。出荷は230千 m^3 で高水準が続く。1~6月累計は1,188千 m^3 (前年同期比2.0%減)、在庫は増加し193千 m^3 となり、在庫率は0.98ヵ月と徐々に増加。米国西岸港湾労使協定の失効に伴うストライキに備え、国内最大手製材は原木在庫を積み上げている模様。東京木材埠頭の7月製品入荷はバルク船が入らず、9千 m^3 (前月比57.6%減)、出荷は15千 m^3 (同13.0%減)、在庫は48千 m^3 (同11.0%減)。輸入製材品の荷もたれ感に影響され、国内挽き製品の動きも緩慢になっている。正角の荷動きが鈍い。割物はある程度の需要がある。

3. 南洋材

サラワク州では時折、降雨の天候が続いている。カピット川上流では好天が続いており、輸出用原木はタンジョンマニに集材されている。他地域では集材が困難な状況が継続。原木の径級が小さくなっており、日本・台湾向け製材用の高品質大径木が出てこない。PNG では天候が微妙で原木生産量は伸びていない。全体的に製材用の大径木の割合が低く、日本向けの製材用ロットを作るのが難しい状況。サバ州ではまだ原木輸出の実績はない。8月予想の原木入荷は0千 m^3 、出荷は2千 m^3 、在庫7千 m^3 。製材品入荷は30千 m^3 。

4. 北洋材

日本側の市況・荷動き悪化により産地への引き合いは急速に落ちている。一方産地側も夏場で丸太在庫が少なく、また中国市場も悪いことから積極的な売り込みもない。アカマツ原板は産地側の原木不足で交渉は進んでいない。本格的な交渉は秋口からと見られる。シッパー側は生産済みのアカマツ完成品を出荷したいが、日本側から値段を出せない状況で商売は成り立っていない。6月は現地挽き完成品の大量入荷となり、7、8月も入荷は減らず、出荷は低調であるため、どの港の倉庫も満杯である。国内製材工場に高コストの原板が順次入荷している。現状では原板在庫は十分にある。国産完成品はDIY/流通ともに引き合いが減少し、荷動きは急激に悪化している。6月の製品入荷（東京+川崎）は27千 m^3 、出荷は16千 m^3 と相変わらず低調、在庫は53千 m^3 と一気に増加。6月は入荷、在庫とも大幅に増加する見込みである。

5. 合板

合板用原木のスギ、ヒノキ価格は軟調推移、道産カラマツは供給が増えず、需給が引き締まり価格は高止まり。米マツの産地価格が続伸しており、現地需要の増大により輸出向けは減少。合板向けのオファー数量は月を追うごとに減少している。

6月の国内合板生産量は27.0万 m^3 、うち針葉樹合板は26.6万 m^3 、出荷量は26.8万 m^3 で在庫量は9.2万 m^3 、うち構用合板の在庫は7.6万 m^3 、在庫率0.3ヵ月と低水準が続く。針葉樹合板は西日本の工場火災で、長尺合板を中心に不足感が懸念されたが、大きな混乱は起きていない。不足感が解消され市場は落ち着き、8月も価格は据え置きだが、中国産の入荷が高水準で、価格の行方が懸念される。輸入合板は針葉樹合板の不足感が解消されたことで引き合いが日々弱くなっている。6月の合板輸入量は23.1万 m^3 （前月比1.8%増）で主要国からの輸入量は概ね減少しているが、中国産が増加し、針葉樹合板が

20 千 m^3 (12mm 換算 100 万枚)。インドネシアでは原木不足は徐々に解消してきたが、伐採規制等で原木価格は高止まり。新規の引き合いは少なく、必要最低限の成約になっている。マレーシアでは限られた原料と労働力でフル生産を継続している。日本側の港湾物流の麻痺、倉庫スペースの問題等の改善を待つ状況に変化しつつある。

6. 構造用集成材

コンテナ船の動きが安定し、今年第1・四半期契約分が入荷、第2・四半期契約分の入荷も始まっており、ラミナ確保に懸念材料は見られない。第2・四半期契約価格は欧州での木材需要の増加により€100 程度の値上げとなり€570～600/ m^3 程度。急激な円安ユーロ高で港着 80,000～85,000 円/ m^3 周辺。国内メーカーの受注ではスギ集成材は好調であるが、RW、WW はプレカット工場の在庫量の問題があり、厳しい状況が続いている、輸入集成材の国内流通価格は135,000 円/ m^3 周辺。第3・四半期契約は数量を減らす可能性が濃厚である。

7. 木材チップ(東海)

チップ原木は製紙・バイオマス用とも引き合いは強く、高値材も多少無理して購入している。解体材は7月頃から入荷が徐々に落ち、発注量をこなし切れない工場も出ている。各社とも下期以降の集荷に警戒感が強い。製紙用は定期修理により一時的に使用量は減少したが、針葉樹チップの増集荷基調は依然継続。例年と異なり、今年は燃料用の在庫が増えていかない。輸入チップは特に米マツの価格上昇と玉不足が依然強い。

8. 市売問屋

輸入材の供給増加により、慌てて仕入を行う材木店は見られない。仕事量が少なく、この先盆休もあるので様子見になっている。スギ、ヒノキとも KD 材は高値横ばい推移だが、ここに来て荷動きが悪くなってきている。盆休明けの動きに注視したい。

9. 小売

供給量は回復したが、荷動きに勢いがなく、在庫が滞留し始め、新規に手当てする空気はない。スギ柱、間柱は外材の代替品として底堅い需要がある。バタ角なども需要が出て来た。ヒノキ土台角、柱角はスギなどに分散したことで荷動きは停滞し価格は弱含み。米材の動きは落ち着いてきた。欧州材の品薄感は解消されつつあるが、需要停滞で荷動きは悪い。ロシア材の野縁材は春先に多めに手当てした材木店が多いが、ここに来て納材の間隔が開き気味で、多少のだぶつき感がある。ポプラ LVL は安定して動いている。

参考資料

(一財)日本木材総合情報センター

令和4年8月12日

1. 主要外材入出荷在庫量

		入荷量	出荷量	在庫量
米材	丸太	→	→	→
	製材品	→	↘	↗
北洋材	丸太	輸出禁止	*	*
	製材品	↘	↘	→
南洋材	丸太	↘	↘	→
	製材品	→		

注)北洋製材品は東京・川崎

矢印の表示は今月に対する翌月の動向を、下記のように示したものである。

- ↑ 急増・急上昇
- ↗ 増加・上昇
- 横ばい
- ↘ 減少・低下
- ↓ 急減・急落

2. 合板供給量

国内製造量	輸入量		
	計	インドネシア	マレーシア
↗	↘	→	↘

3. 価格動向

樹材種	形状	取引条件	樹種・寸法等	動向
国産材	丸太	卸売価格 (北関東、県内産 市場土場渡し)	スギ柱材 (3m) 2等	→
			スギ中丸太 (3.65m) 2等	↘
			ヒノキ柱材 (3m) 2等	↘
			ヒノキ中丸太 (4m) 2等	↘
	製材品 (関東近県産 板は東北産)	首都圏・市売り 価格	スギ柱角 (KD) 10.5×10.5×3m 特等	↘
			スギ柱角 (KD) 12.0×12.0×3m 特等	↘
			スギ間柱 (KD) 10.5×3.0×3m 特等	↘
			スギ加工板 1.3×18.0×3.65m 特等	→
			スギタルキ 3.0×4.0×3.65m	→
			ヒノキ柱角 (KD) 10.5×10.5×3m 特等	→
ヒノキ柱角 (KD) 12.0×12.0×3m 特等	↘			
ヒノキ土台角 12.0×12.0×4m 特等	↘			
米材	丸太	産地価格	米マツ ISタイプ	→
		国内卸売価格 (京浜・オントラ)	米マツ ISタイプ コースト	↗
	製材品 (カナダ産・ 現地挽き) (国内挽き)	東京・問屋店頭 渡し価格	米ツガ桁角 (KD) Std&Btr S4S 10.5×10.5×4m	→
			SPF 2×4 J-Grade R/L	→
			米ヒバ土台角 (GR) Std&Btr 4・13/16" 13'	→
		米マツ平角 (KD) 特等 10.5×24.0×4m	→	
南洋材	丸太	産地価格	メランティレギュラー	→
		東京・水面筏 渡し価格	メランティレギュラー 60cm上、4m上 製材用 メランティレギュラー 60cm上、4m上 合板用	→
	製材品	産地価格	ホワイトセラヤ 平割 (サバ州産)	↗
		東京・問屋店頭 渡し価格	同上2.4cm×込み×4m 定尺1等	↗
北洋材	製材品	国内卸売価格 (京浜・オントラ)	アカマツ (KD) 30×40上級	↘
			アカマツ (KD) 16×40上級	↘
欧州材	製材品 (現地挽き)	東京・問屋店頭 渡し価格	ホワイトウッド 間柱 3.0×10.5×3m S4S FOHC	→
			ホワイトウッド ラミナ 2.4×11.0×3m上 ラフ乱尺	→
集成材	国産	東京・問屋店頭 渡し価格	ホワイトウッド 無化粧 JAS 5プライ	→
			スギ 無化粧 JAS 5プライ	→
	欧州産	//	10.5×10.5×2.98m	→
合板	国産	東京・問屋店頭 渡し価格	タイプ2 F☆☆☆☆ 2.3mm厚 3×6	→
			タイプ2 F☆☆☆☆ 4.0mm厚 3×6	→
			型枠 12.0mm厚 3×6	↗
			針葉樹構造用 12.0mm 3×6 F☆☆☆☆	→